



やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 夏目雅康 幹事 / 高桑 耐 会報委員長 / 鈴木啓仁
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 H P / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：有意義で楽しいクラブ活動・例会を考えよう

本年度第4回 通算1166回 平成22年7月27日(日)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	7/13 修正出席率
		54名	31名	70.6%	100%

ゲスト:(なし) ビジター:(なし)

会長挨拶及び報告

夏目雅康会長



今日は、ボラン・コラボ穂の国7の市内の高校生の皆さんにお越しいただいております。夏休みの忙しい時間にありがとうございます。

毎年素晴らしいボランティア活動報告をして頂くので今日も期待しております。

今週のビッグボイスは、「改革を阻む5の壁 1.認識の壁 2.判断の壁 3.納得の壁 4.行動の壁 5.継続の壁」です。これは、米国の日系アメリカ人3世の実業家、グレン・S・フクシマさんの言葉です。皆さん、どうでしょうか。

幹事報告

高桑 耐幹事

例会臨時変更のお知らせ
8月10日の環境担当例会について

委員会報告

親睦委員会(小田委員)
納涼の御津駅のお迎えについて

新世代委員会担当例会

委員長あいさつ

杉浦委員長

今日は、ボラン・コラボ穂の国7の市内の6高校の生徒さん、先生にお越し頂きまして、日ごろの活動を発表して頂きます。



この活動につきましては、継続に重点をおき

たいと思っています。「継続は力なり」とも申します。このように事業を続けていくことで、若い皆さんの横の繋がりが、強くなることを手助けできれば良いなと思っております。

本日は、元気な高校生の皆さんの話を聞いて頂いて、皆さんも元気をもらい、私は高校生の頃の純粋な気持ちを思い出して、社会に向かって頑張っていきたいと思っております。本日は宜しくお祈りいたします。

各学校の活動発表

御津高等学校



ボランティア活動予定を発表します。地域の老人ホームや介護施設に行き交流をするだけでなく、聾学

校との交流も行っています。それらの活動を通して何か大きな事をやりたいと思い、大きな絵画を作りたいと現在企画しています。目的は、健常者と障害者の壁を無くして、誰もみんな同じことができ、みんな平等であることをお互いが知り、再確認をするということです。テーマは「未来」です。未来は見えないし、何が起るかわかりませんが、誰しも必ず幸せが待っていると思います。たとえ今は辛くても、いつか必ず笑顔になれることを信じています。それらの意味を込めたテーマです。絵画の大きさは未定ですが、小さな原画を豊橋聾学校と御津高校から募集して組み合わせ大きな一つの絵にして、御津高校の文化祭で展示しようと思っています。

9月に文化祭があります。テーマは「エボ

リフレッシュ昨日より強い自分」に決まりました。毎年、活動報告の掲示物やペーパーフラワーを作っています。今年はみんなに楽しんでもらえるように、ミニゲームも準備しようと考えています。今後、私たちは、今以上の多くの人たちと交流をし、たくさんの活動ができるといいなと思っています。

国府高等学校

今年は国府高校の創立90周年という年で多くの行事があります。5月に毎年恒例のゆうあいの里ボラ



ンティアがありました。しかし、今年は天候の都合で活動することが出来ませんでした。期末テストが終わったあとクラスマッチが行われ、午後の突然の大雨で、翌日に日程が流れましたが無事に終わりました。その他、文化的行事としてオペラ鑑賞会があり、90周年にふさわしいものでした。

2学期の始めには文化祭があります。2日にわたる行事なので、気を引き締めていきたいと思っています。今年のテーマ「Keep Our History」も90周年にふさわしいと思っています。10月16日には、創立90周年式典があります。これは生徒会活動ではありませんが、90周年という区切りに僕たち生徒会が関わったことを光栄に思います。そして、これからの生徒会がよりよくなるように僕たちも歴史を守っていききたいと思っています。生徒会は、学校を引っ張っていく上で重要な役割を果たします。僕らは90周年という中で、その役割を担っています。責任は重大ですが、プレッシャーをはねのけ、これからも邁進していききたいと思っています。

小坂井高等学校



ボランティア活動について報告します。全校の生徒には、校内放送やポスター、

生徒会だよりなどを通じて呼びかけを行っています。本年度は、5月に豊橋動植物公園での善意フェスタに約30名の生徒が参加しました。福祉施設、福祉団体の人たちと共に模擬店、ゲームコーナー、野外ステージなどの見学をしたり遊んだりしました。夏休みには、豊橋善意銀行主催のボランティア活動に参加する予定です。2学期には文化祭があり、小坂井の“もくせいの花”の方を招待します。クラス企画のバザーで収益が出たら善意銀行に寄付をしています。そして、当たり前の事なのに出来ていないゴミの分別を文化祭では徹底的に行っていきたいと思っています。そうすることで、ゴミの分別を意識してもらうようにしています。12月の期末テスト最終日に、生徒会活動の一環として、校内、通学路、学校周辺の清掃活動を行っています。この行事をクリーン大作戦と呼んで、部活動を中心に多くの生徒が参加してくれています。文化祭のゴミの分別のお陰が、生徒一人一人の変化によって、全員がとても真剣に行ってくれています。3学期には、1、2年生の希望者で小坂井の保育園を訪問して、園児と一緒に遊んだり、おやつを食べたりと2時間程の幼児教育を体験しています。今後は、赤い羽根共同募金などの新しいことに挑戦していききたいと思っています。ボランティア部がない小坂井高校は、生徒会が中心になって活動をしています。生徒会活動と共に行っているのも、そんなに様々な活動はできません。ですが、少しでも多くの人役に立ち、一人でも多くの笑顔を見られるように努力しています。

豊川工業高等学校

昨年同様に、今年もキャンドルナイトとシーボーンアートをメイン行事と考えています。活動日は、毎週



火曜日と木曜日、金曜日に行い、ミーティングなどを行っています。文化祭などが近づけば毎日行っています。他に、毎月第3土曜日に赤塚山のぎょぎょランドにて「子ども物づくり教室」の指導者として子ども達と作品を作っています。イベントへの参加としては、

おいでん祭やゆうあいの里祭りに模擬店や案内のお手伝いをしています。今後の活動としては、地域へのイベントの参加、海岸清掃の実施、キャンドルナイトの準備と製作など行っていく予定です。

豊川高等学校



前期の活動報告を行います。ネット未来の総会に参加し、どんぐりの会の皆さんとハンドベル

の演奏を行いました。佐奈川の会の方と一緒に清掃活動として、草取り作業に参加しました。おいでん祭では、難民の皆さんに送る衣料の回収ボランティアを行いました。ダンボール約 186 個の衣料が集まり送ることが出来ました。

6 月には、五者フォーラムに参加しました。生徒、父母、教員、住民、卒業生の交流の会で、「地域につながる学園祭をどのようにしてつくっていくか」をテーマに意見交流しました。文化祭のテーマは「エコ・環境」で、様々な意見を頂き、出された意見や提案を今後の活動に活かして行きたいと思います。

今年の学園祭は、10 月 2~3 日に開催します。全国から約 1~2 万人来校します。今年が目玉企画としては、お笑い芸人や歌手を呼んでのステージです。生徒企画としては、「エコキャップアート」です。目的は、地域とのつながりを深めること。集めたキャップをユニセフに寄付して、伝染病のワクチンに変えてもらうことです。ペットボトルキャップを集めていますので、ご協力よろしく願います。それと野外ステージの参加者も募集しています。ご連絡よろしく願います。

宝陵高等学校

私たちは 12 名の部員で活動しています。本年度を最後にボランティア部は廃止され、



来年度以降は、生徒会を中心にボランティア活動をするようになっていきます。来年度以降のことを考え、生徒会とより緊密に活動を進めていこうと思います。

1 学期は、あしなが育英会の募金活動と障害者支援施設の希全センターでの七夕交流会を行いました。募金活動には、ボランティア部以外の生徒も大勢参加してくれ 4 日間にわたって豊橋駅の東口で募金活動をしました。他の高校の皆さんと交流を深めながら活動できて、とても良い経験になりました。募金活動中に「頑張ってるね」と声を掛けられ嬉しかったです。希全センターでの七夕交流会では、入所者の方と短冊に願い事を書いたり、笹竹に飾り付けをしたりしました。ちょうど福祉科の生徒が研修に来ており、センターは宝陵高校の生徒で賑やかになりました。交流会を終えて帰るとき 2 人の入所者の方が、玄関まで見送りに来て下さり感激しました。

生徒会も独自の活動として、エコキャップ運動をしています。キャップを洗ったり、まとめたとかなり時間の掛かる作業ですが、生徒会役員が熱心にこの運動を進めています。

夏休みには、学童保育支援を行います。今年は新城市で行います。ゲーム、水遊び、子どもたちの健康と安全に注意しながら、楽しく活動したいと思います。

2 学期には、文化祭での活動報告、体験発表会での発表など、多くの人たちにボランティア部の活動を知ってもらう機会があります。報告や発表を通して、ボランティア部への理解を深めてもらうだけでなく、より多くの人々がボランティア活動に参加するキッカケになれば良いと思っています。活動を通して多くの人たちと出会い、教えられ、自分を高めていくことになるからです。ボランティア活動は「人のために行動する」だけでなく、「自らの成長のために行動する」ことが大事なのではないかと思っています。

ニコニコボックス

岩瀬靖宏会員	誕生日を祝って頂き
星川佳伸会員	入会を祝って頂き
杉浦節子会員	本日の例会担当です
夏目雅康会員	名古屋場所に出掛けました
細井 勉会員	社労士の試験がんばります

ボラン・コラボ穂の国7の交流会

例会終了後に高校生の皆さんの交流会が行われました。3つの班に分かれて自己紹介の後、テーブルディスカッションが行われました。



テーマ

みんなで何かやるとしたら、どんなことができるか？やりたいか？

まとめの発表

1班

老人福祉施設で屋台をして、利益はユニセフなどに寄付をする
販売するものは、ゴミが出ないような食品にする。

飲物等は、飲み終わると分別ゴミになるようにし、その分別ゴミが更に次なる支援に繋がるようにする。

続けることで、楽しめて、多くの利益が出ると思う。

2班

他の学校との交流をしたい。

交流も出来るし、作業の効率も図れ、楽しく活動が出来る。

3班

地域、他校との交流をしながら小さいことからコツコツとする。

協力をしながら、一つの行事を作り上げる。
学校ごとに規則があり、実現するのに壁が多くあるが、地域を巻き込んで何かできると良い。

会報担当者：鈴木啓仁会員、土井昌司会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。